

独立行政法人日本貿易振興機構  
2016年度 第1回契約監視委員会 議事概要 (要旨)

1.日時：2016年6月1日(水) 15:00～17:00

2.場所：日本貿易振興機構 10階会議室

3.出席委員：

中村信男委員長、尾花真理子委員、齊藤 秀久委員、出口眞也委員、古谷朋彦委員

4.議事

(1)2015年度一者応札・応募

(2)2015年度競争性のない随意契約

(3)「平成27年度調達等合理化計画」評価に係る点検

(4)「平成28年度調達等合理化計画」策定に係る点検

(5)2016年度競争性のない随意契約

5.委員長選出

契約監視委員会の設置に関する内規第3条第3項に基づき、外部有識者のうちから委員の互選により、中村委員を委員長に選出。

6.議事概要

(1)2015年度一者応札・応募

事務局より2015年度一者応札・応募案件として第4四半期に実施した6件につき説明（その他の案件は既に審議済み）。

委員からの主なコメントは以下のとおり。

○システム関連の案件のように仕様の見直し等の対応策がない場合は、公告期間の延長等入札スケジュールの見直しが主たる対応策となるのできちんとチェックすること。

○複数の業務を纏めるあるいは、既存の業務から一部の業務を切り分ける等の検討も必要。

(2)2015年度競争性のない随意契約

事務局より2015年度競争性のない随意契約として第4四半期に実施した1件につき説明。  
（その他の案件は既に審議済み）

これに対し特段のコメント・指摘事項なし。

(3)「平成 27 年度調達等合理化計画」評価に係る点検及び(4)「平成 28 年度調達等合理化計画」策定に係る点検

事務局より平成 27 年度の評価及び平成 28 年度の計画につき概要を説明

委員からの主なコメントは以下のとおり。

○一者応札案件は、26年度に比べ27年度は増加しているが28年度も同じ取組で良いのか、取組が実効的だったと評価できるのか、精査・検討すること。

○一者応札の要因分析として例示されている事案についてなぜ当該事案が一者応札になるのかその理由を明確に記載すること。

(5)2016 年度競争性のない随意契約

事務局より対象案件について説明。

委員からの主なコメントは以下のとおり。

○新規の随意契約については金額の妥当性をどのように検証しているのか。委員会での随意契約審議の際に、組織内でどのように検証したのか分かるような情報も併せて提示すること。

以上